ル祭予算

間中のうわついた空気に終止符を

いよいよ秋だ!

いたしかたあるまい。問題のある

会職長の設置は総会をスムースに

らに立候補者を探しているとのZ 高校生徒会はもう少しうまく指導

はとうている

人材の不足で

は、生徒会の真目的 一成出来ないであろ

めともいわれようが、なんといつ

ても高校生徒会には圧迫を感じる

う。選挙監理委員会でも、ひたす

であろう中学生徒会なのだから、

ちであろう。

会則が如何に立派になつても、

が来るのではないか。人材の不足 ら、生徒会活動にも大きな破たん ら後期が始つているのであるか

くの暴言であろう。▼このような

事態は、中学生徒会と高校生徒会

との連絡をとる機関がなかつたた

つけてやる」といつていたのは全

か、こつちの案をうまいこと押し

校執行委員が、「中学生徒会なん

には選挙監理委員会もくらい面持

(注) 全予算中、半分は生徒会 が受持ち、生徒会受持分は中学 高校半々となる模様である。

迫る!ヴィアトール

星

ほとんど見られず、盛り上がりに の種の対抗試合はクラスの応援が 校内対抗戦は、ソフトボールと であり、あわせて、この「開会式 牛度までは、ヴィアトール祭がす おうとするものである。又、 **至生徒の応援のもとに、盛大に行** 定しいものであつたため、

今度は ハレーボールを行うが、今までこ りれてしまつたものを改めたもの んでから要彰式が行われ感激がう に設けられてある「開会式」は昨 をもつて、ヴィアトール祭の期

浴



れていることなどが、目立つてい

それに最後に 閉会式 を 設けら

内対抗戦」まだ未定だが「映画会 比らべて豊富になつている。「校 がつまつている。内容も昨年度に がつまつているということがなか

たが、本年度はギツシリと日程

うである。

年度までの日程では、終日、行事 を一つずつひろつてみる。まず昨

られている。以下、今年のヴィアトール祭の内容をさぐつてみた。 三年目。ようやく、こういう年中行事にもなれ、大いにその成果に期待が寄せられている 本年も又、ヴィアトール祭がせまつてきた。今年は生徒会の手で運営されるようになって 本年度のヴィアトール祭の特徴・打とうとするものである。 すでに中学、高校生徒会及び学校の三者によつて具体案が練られ、着々とその準備は進め

準備着々と進

も、これに一番力を入れているよ」なお大運動会当日には「うどん やろうというもので、生徒会役員一のではない。 飛入りをも含めて、大いに盛大に 洛星シークレットは昨年同様 行われる予定であるが、多少変更 される可能性があり、最終的なも 以上の他、別表のように行事が

」の他に「すし」が新たに加わるないものになる。 ばせつかくの計画も、全くつまら たくさんの人に参加してもらえね 々な計画に参加してもらいたい。 みせる。 すばらしいヴィアトール祭にして 答 なるべく多くの人に、色 全生徒に望むことは。

を行うといつている。歴史部とし

に中学生に我はと思わむ 新聞局編集員募集中、 ものはいないか。 この旗の下に来たれノ 真実を愛する者よ 局 ピューを試みた。以下はその一問 は特にどういう点に力をそそいだ しい川勝高校執行委員長にインタ 丁定である。 土曜日の放課後、準備にいそが 川勝高校執行委員長談 今度のヴィアトール祭で

洛星新聞編集局 京都市北区小松原南町 TEL@2334

うんと雰囲気を盛り上げて、閉会 式でしめくくりをつけるようにし れ、そして最後のシークレットで ことにつとめた。日程は、前夜祭 もらうために、内容を豊富にする で景気をつけ、運動会でカツを入 全生徒に大いに楽しんで

全く順調に進んでいる。 準備は順調に進んでいる う。主将の岡田君(高二)も大は一う。

めとて、模型などによって発表会 手ごろなもので、円墳らしく思わ トール祭までにその研究結果をま 発表会をひかえて、二十八日、嵯 れるという。歴史部では、ヴィア 崩壊してはいるが、対象としては 戦野の「甲塚」を調査した。相当 歴史部では、ヴィアトール祭の一ては最初の試みであるだけに期待

は何を出そうかと悩みの種だとい 以上に発揮しようとしているのだ部、体育部共に特技を日頃の実力 う事だ。 では早くもクリスマス行事の準備 が、或クラブでは記念祭の行事に をしているとか。記念祭では文化 演劇部では一歩速く記念祭の 記念祭も近づいたが、演劇部 は 9

夜祭

7-00~900

ール(鰲

レット

/中学の部

閉会式(表彰式)

グリークラブ他音楽部映画

み合せを始めるに至っているとい 、何ともうクリスマスの練習も読 練習を初めているのかと思つたが 演出は鰭方先生で、これは高二が う。洛星演劇部の大野心劇だとい いないが、女優も何人か出るとい 中心である。細かな情報は入つて クリスマスの演劇は三幕ほどのも の特別演出である。斎藤、清水 安田君(高二)に頼み、 ので、ボール・クローデルの作品 沢田の各俳優がはりきつている。 記念祭の出しものは「本尊」で ほとんどが高一であり、演出を

前

5.00~6.30

6.00~8.30

演劇コンク

演劇コンク

ーク

6-00~9-00

洛星シ

ル 休

歴史部「甲塚」を調

星洛シー クレット 会 動

準

2-30~4-00

2.00~4.00

2.00~4.00

合 唱 コ

代

謡曲部発表

会·文化部発表

ン ク

がもたれる。 する。詳細は執行 諸君の参加を希望 委員まで

運

大 運

準

準

9.00~5.00

9-30~11-00

備

18日

19日

20日

21日

22日

23日

きる演 劇

りきりだそうだ。

部

ール祭日程 ア 1

生能総会において、ようやく新「 のは、その検討ぶりを疑われても 者のほとんどが中央委員であつた 分なところは多いにしても、質問 行した。根本的な正のため、 か、多数の質問が出て、非常に難 委員会での検討不足がたたつたの ものであつた。 間でも改正の必要が叫ばれていた 総会にはかるはこびとなっていた 常な困難をきたしたが、ようやく 根本的に改めようとするために非 めとする種々の弊害を除てうとし 尚責任者が存在しないことをはじ 資金の二委員会制、 会則における、中央委員会と執行 医前期の中央委員会で、今までの した。この会則については、本年 洛星高等学校生徒会会則」が成立 ものであつた。前々から、生徒の 準備が進められていたもので、 二十二日の通常総会では、中央 去る二十二日、及び二十九日の一会を終つた。 生徒会の最 比べあつけないほど早く終つた。 響騰したが、二、三の質問でまた 保留されていた問題点について、 会として、立法機関と行政機関を れる。又従来の中央委員会と執行 スに運営が行われるものと期待さ ちであつたのが、これで、スムー 行委員長の二委員長制では、どう う。今までの中央委員会長及び軌 たくまに承認された。 中央委員会で再検討された結果を たでとが目につく。それに生徒総 の深い事項に対する発言権の強行 の予算や競技会等、クラブに関係 ブ相互の交流を計るため、クラブ しても、権限等の問題が、起りが まず、会長をもうけたことであろ のためにクラブ代表委員会を設け 一つにまとめたこと。及び、クラ 新会則の主要な点をあげると、 員会を一つとして中央執行委員 二十九日の総会は、二十二日に 則成

の第一歩であるから、傑出した人

ようである。

改正規約によると、九月十日か

に立候補の方は他人まかせが多い 材を求めたいのだが、前期と同様

は致し方ないが、指導とは、計画

を押しつけることではない。一高

中学生徒会を指導する形になるの

はなかつたろうか。高校生徒会が

しよになつて計画をたてるべきで

野に出よう。

秋の草花が野に咲いている。

花は君達の来るのを待つているであろう。

友と共に歌つて歩こう。

空は高く、山はくつきりとうかぶ。

出が初つている。改正規約の下で 後期 補届 後期生徒会 出始る 会長立候 五々長の立候補者の届

のつた型で出来上つたわけである 土台とした生徒会が、非常にとと て、クラブと、ホーム・ルームを

谷 君 提

水

24日 こういう形になったのは、計画を 押しつけた高校生徒会ばかりが悪 中学生徒会も悪いということにな れていないということになる。▼ ろう。▼そもそも、ヴィアトール いのではなく、ボヤボヤしていた 祭の計画は、始めから三者がいつ 中学生徒会の意見がほとんど含ま ではなかろうが、なんといつても であり、絶対的な強みを持つてい 計画は、それ自体決して悪いもの た。▼このようにして決定された 側の察は学校との相談ずみのもの

立

校

の一致を見た。これに別に問題は 学と高校の生徒会の会合を見てい 中学と高校の生徒会の間で話し合 る。そして高校生徒会と学校とは どのようにしてすすめられてきた やら、なかなかすばらしいヴィア は吐いたが、なにしろ、高校生徒 会が、学校と相談して決めた計画 い。そして、つい最近になって、れていなかつたのはどうもおかし ないが、中学生徒会がこれに含ま かを見てみると、どうも不自然な た。中学生徒会側は意見を吐くに たところでは、ほとんど高校生徒 じめはパラバラに始めたようであ 会・高校生徒会、学校と三者がは ところがある。準備は、中学生徒 をおしつけているのも同然であつ ころで、ヴィアトール祭の準備が なるものを組織した。▼この中 比較的早く相談して、一応意見 ール祭となりそうである。▼と 「ヴィアトール祭準備委員会 すすんでいる。どう ▼あと一ケ月足らず ある。準備も着々と でヴィアトール祭で

聖母会

だろうか。無論、学園もその当時

る。表面では、

全く昔と変つてい

方は、これも同じようにドンドン ンドンと新しく入つて来る。先生

ない。然し、一歩中一生の中へ入

ってみると直ちに大きな変わり様

次第に薄れてきているのではない

っで、学園の推移を少なからず示 祭のカラーは、毎年変つていくよ 行われようとしている。この記念

過す高二、高三生があつたら、彼

今年の中一生の教室で、一日を

本年もヴィアトール祭が盛大に

態は、毎日我々が味わつているの

年も昔の事が世間で通用している

も、或はひどいのになると六、七

を知らないようである。三、四年

世間は未だ十分に、学園の推移

しているようだ。近頃、創立二、

一年目頃の一種の家庭的な空気は

るであろう。中一生は、高二・高

らはきつと大いなる推移に驚嘆す

も昔から居る人もある。先生方だ 間である。成程、生徒は五・六年 思つてみれば、まことに哀れな世

つてそうだ。ところが、生徒はド

三生と同じような色の服を着て居

ら家庭的なものが失くなつて、も の倍の構成員となっているのだか

は不統一な事が多数起つてきて、

、それこそ本当にどちらとも正体

学園となつてきた。

クラスのまとまりは上手にい

家庭的なものと呼べるならば)

な考えを捨てさせ、協力の精神を

誰もが持つようになつてもらいた

わてて御辞戲をした。ことで某君

であろうか。もちろん生徒は神父

我々は毎日十分をもむさばり眼る

止がうたわれ

かろうか。

人間として営

そうに御辞儀した。その生徒もあ

で見てみると、

全体としてみると

これが大きく表面に現れているよ

学内の規律の乱れた状

意味における進歩である事も認め

のは当然の事である。又それが或 一と新しい空気がみなぎつてくる

が解るのである。

或る点では進歩

したものがあり、或る点では停滞 している。その両方を区別しない

と。そうして次第に家庭的なカラ

を出ていかれた。これもドンドン 三生になじみだつた先生方は学園 入つて来た。その半面、高二・高

自らの手でなんど

る必要ある規則の実行 の痛い問題だが

以前ほど嵌格に静粛命令を出さな ペシャンとおさえつけてしまう。 礼を見てごらん。」と、両方とも 向方ともなつてないよ。昨日の朝

う、つらい事だろうが、これでは

から往告を受けるのはイヤであろ る人が居る。後日、先生が補導部

は真つ赤である、「コラー・

い補導部へ行つて補導部長に聞い

子生はなつてない。」というだろ

も昔の事を知つている人なら「中 を
声にしていた。
高校生で、
三年 いのに僕等だけ怒られる」と不満

だ。

っ。先生は「何をいつているか。

生方の中には極度に静粛を強要す

事実であろうが、 それははたして進歩であろうか停退であろうか。 心得を中心に探つみてた

> てみよう。「現状は騒々し過ぎま

るのが目的ではなく、静かにする

る。」と、同じようなことを云わ

を通して強い意志を作る事にあ

あるのではないか。

れる。朝礼から授業が開始される

いるが、高校ではまだ何もそのよ は執行委員会が、実施にむかつて るのではないだろうか。中学校で うのだが実際上相当の混困難があ 意志は見せていなかつた。或る生 としては、余り積極的に実施する つな事はされていない。補導部長 一員の協力を得ていきたい」とい 8の方針については「週番や執行 の事を補導部長は言つていた。 たから明礼をもつと静かにす

、映画を見に行こうと

ある日、高二の某君

くなる

歩いて来るようだ。あいつも退屈 中二と思われる生徒が、こちらへ いた。すると、中一か 思い、ぶらぶら歩いて

浴

路を定められるのは我々には、よ ものだ。まず記念祭では、利己的 念祭と、後期生徒会に期待したい 会にあるのではないだろうか。記 はないか。その方向のカギは生徒 い方面に進ませる義務があるので よい程変わるのではないか。 時には校内の空気は全くといって つて旧い人達が、卒業していつた は決して言えない。もう三年も過 学園としては、まとまつていると つてくれる事はよくない。その進 有難い事ではあるが、悪い面へ変 大いに変る事は有難い。確かに 円満だ、然し全体的な一つの やろうと思つているのにあの様は またもや中学生がやつて来た。某 生徒はすでに某君の前に来た。そ て来た。御辞儀をしようか。 がして、気がむしやくしやした。 者に、してやられた、という感じ 儀をされた事がなかつたからであ 君その生徒が前にくると、恥かし なんだ、と腹を立てている間に、 た、せつかく自分が御辞儀をして 去つた。某君はチクショウと思つ まいかと迷つているうちに、その するとこんどは高三の生徒がやつ 三メートル後を歩いていた。 なかつた、ふりむくと。すでに二 しかし、前にはもうその生徒はい る。某君気を取り戻し御辞儀した して、某君には脇目も振らず遊り

始怒つてもらつてよいかというと 徒「高一生は我々が入学した当時 とらえる事は現在では大切な事 或は守らせるべき要所を上手に ろう。その静粛を守るべき要所を キリツとしめる事が先決問題であ そこにも問題がある。要所要所を ているようだ」という。だから終 と比較できないほどあまやかされ 自発的な静粛は必要な事だ。先 見えた教室は一瞬静まり返つた、 すね・・・」突如彼の顔面に血の気が

である。現在において、それは充

る。然し、これは言い ふるされた一昔の事実

洛星の特徴の一つであ ○静粛を守る事は、

数室中央の床を見つめながら彼の

「それでルソーはで

机の上に両手を置き、眼鏡越しに

であろう。生徒会が学園の平和を べては生徒の意にかかつているの 項目を如何にして実行するか。す い。実際自発的静粛実行に意義が を守ろうとする生徒にとつては、 の項目に反する事である。又静遠 表裏が出きてしまう。これは静樹 強要されるのはよい気持ちではな 有名無実化した生紀心得の第一 生徒心得の状態が見へるようだ。 割の実施も困難ではあるまいか。 治を願望するとすれば、まず第一 どよい事はないだろう。生徒の自 各人にうえつけるならば、それほ ことにも有名無実化してしまつた る。然し現在の状勢から見て、五 要所要時にちつじよを守る事であ になされるべき事は、自らの手で

めいた。これまで下級生に、御辞 んと御辞録した、某君あわてふた 君の前に来ると、やにはにぴよと 思つていた。するとその生徒、某 まきれに映画でも見に行くのかと 何んとも云われても云えないのだ ては補導部長はいても、いなくて も同じ事だと思われていても、

部がほしいものだ。

らりであるが、これにギリギリで 礼をする者の何と多い事か同じ生 徒心得に『朝礼十分前までに学校 もすれば時間に縛られ勝である此 の一部である。我々の生活は時間 れはよく知つている様に生徒心得 思う。ルー日の学校生活は朝礼か 所で登校時を問題にしてみたいと によつて合理化されているが、と うてとができる。 // こ なり生活を計画的に行 駄につぶすことがなく かりでなく、時間を無 人に迷惑をかけないば ル時間を嵌守すれば他 補導部室や玄関で 定になる。朝礼によつて今日の勉 十分でもよけいに寝たい。」と、 懸命に走つているのだ。 さぞかし 分前には時間の奴隷となって一生 強への心構えをこしらえてから数 間を歩いたり走つたりしている勧 すれば、約十分の間に四百人もの 完全邏刻は毎日三人位しかないと ミセーフ型なのだろうか。しかも なぜこんなに多くの者がスベリゴ 項を実行しているのは全校生徒の 室に望むわけだが、 人間が、西大路通りから学校迄の 三分の一にも足りないだろう。 「十分も早く行くのは馬鹿らしい 同じ生徒が数 ろう。又、石山、宇治、高槻、向 又それ位でなくてはならないであ あろうか。約四百人もの生徒には リコミにスリルを求めているので 桂から通学することにしよう(桂 等は、 十分も早く家を出れば 遅刻 ともあろう。しかし、電車の遅延 である、不慮の事故で遅刻するこ 日町、亀岡と通学範囲の広い我校 勉強でつい寝過すこともあろう。 高三の諸君の中には、夜遅く迄の の理由は無いはずである。勿論、 毎日スベリコミ運動をやらかす程 はない。』理由なき反抗』でスベ 通学にさくだけの余裕は無いはず 々には、一日の百四十四分の一を には影響ないはずである。例えば

る。)この御仁達は八時四十分に く起きたのなら、十分早く寝れば 要するに、もう十分早く家を出れ ら十分間は今迄通り洛星生徒ラツ 登校するだろうか。八時四十分か くなつたと言う御仁には一つお聞 よい。又その為に勉強時間が短か ばよいのである。 シュミニッツが展開されるだろう 朝礼を八時五十分に開始するとす は何所の生徒でしようかね。」我 帰宅していますか。」「何。すぐ していますか。」「放課後、即刻 きしたい。「夕食後、直ちに勉強 放課後運動場で野球をしているの に帰っているんですか。それでは (但し終業は今迄通りとす その為に十分早 は、我校にとつては全く名誉なる ある。校門の前に先生が立つてお 所に立つて戦かなくてもすむので 々が定刻に登校しておれば、これ つて、補導部の先生にである。我 ・又、他人に迷惑をかけない為で れる。即ち、 健心得の時間 酸守の項が答えてく とではない。 って走つて来ているなどという図 られ、向うから生徒がフウフウ言 から寒くなるのに毎朝毎朝校門の という習慣の第一歩だからである もある。「誰に迷惑がかかるか」 さて、何故 生活を計画的に行う

が、遅刻者の為を思われてか、な 朝礼の時、日によつては校長先生る。生徒は大いに此を活用する事 をとるならば、自ずから洛星の生 とによって余裕のある生活を送り一つた時等に電話で知らせよと学校 であることを忘れたくないもので 従としてのプライドが出来、更に くないものである。時間を使うこ うか定刻にはお出になつて載きた かなかお出 いものである。 つたまま待つ 所で先生にも一つお願いしたい 無駄をなくし、規則正しい行動 しかし、時間の奴隷にはなりた 時間識守は確かに努力を要する ている事がある。ど ならず、ボサツと立 我校の前は公殿道路 であろう。 為に、許可をもらわなければなら ららわずに映画を見る事が出来る が、この様な生徒自身が許可証を う非常に有難い事をしていてくれ

ある。

トルカ!!」…真つ赤な顔がスーツ は如何?エピソードは数々あるが 数室内に秋風が吹く、以上の記述 と元にに戻って行く、 は二、三年前迄の話であるが、今 それは、さては置正木先生の勤 台風一過、 はお気に入りらしい。さて趣味の の木がある彼は一身のホゾを片め がくずれ出した…右手を見ると松 つ書とう六甲がエキスパートの彼 如何?)登山でもエピソードを一 難しい本を読む事で特に六法全書 う、そう言う事なら話が大ゲサで 。その話が大ゲサだと言うのだろ 六甲の岩壁を登つていた際に足場 が愛読書らしい(SAKEの方は 困る、登山、 事だが、どうも多趣味で(金に) 一先ず合格だろう、特にベレー帽 も結講である、次に服装だが之は 学生連中の悪行やら学生生活等々 ろしく話をされる、空手の話やら 剣道、音楽、写真、 白いけれど何や知らんけど難しい …」 之は教室だけで彼を見て居る ことを言いすぎる。ちよつと…… だとか言つておられた。その他エ いど。まだ学生みたいやし話もよ 言うのである、それに対してB君 生徒の声。つまり彼が大ゲサだと から聞かれるがよかろう。正直に ピソードは諸々であるから御本人 想像にお任せする。音楽ではベー けたそうである、 日く」そやけど一寸噺つてて面白 る、A君曰く「ああ面白い事は面 トーベンの「運命が何だとかかん 助並であるが、真偽の程は読者の 言つて彼に対する批評に二種類あ いやはや猿飛佐 授業時間外だからと言つて全然話 | 心得を再読する必要があるのでは る彼、難しい六法をひねくり廻す 角張つた一種独特の文字を羅列す ろかグツと親しみ易い人である、 氏も例外ではない、いやそれどと 彼、時々出鱈目なことを言う彼、 最も得意とする親愛の情である、 として或いは兄貴分として。正木 教師と交際ことが肝要である…師 もしないのはおかしい、もう少し 真の師弟関係 しかり之が正木二三雄氏である。 生徒たる者、 した者の声で 「ヨウ!」と言う言葉それは彼の が生れる筈が無い、 教室だけでの勉強で一従え、として、先づ登校時から規 ある、およそ教師と一民(他郷の者も、郷に入れば郷に

守るために自らの手で協力精神を 落雷である!正木二三雄氏の顔面 何シ 様や先生にお辞儀をしている。し一そして、生徒の誰かに礼儀につい て、学校内の先生以外の人達には だけ御辞儀をすれば良いと思って かし補導部長は神父様や先生方に うと学生時代の話になると身振よて「エイツーと飛び移つて難を避 妙な餌をして聞いて居る、かと思 れる、生促諸君は解つたのか解ら るのだろうか、まつたく出来て だ。こんなことで補導が出来てい されたらこつちが汚れるわい。 いうと十人に一人ぐらいだ。そし ば生徒の間で御辞儀している者と いないのじやないか。礼儀に対し 貴様なんかに御辞儀をしたら、又一 いるのではないのか。なぜと云え 挙げると常に六法全書を持ち歩き ヤポン!(意味深長)性格は明朗 務評定書を公開しよう、仇名はチ 儀はだいたい良いと云つているの はずがない。これでも補導部は礼 ちろん尊敬の心など少しもあろう ばかり乱暴な言葉づかいさえもそ 々大ゲサだとの説がある、一例を その話す所の事は難解であり、少 だが右配の如く授業中落雷の由。 の人達につかつている有様だ。も 難しい解釈を長々と言い立てら て追求されると、たじたじとなつ である。もつとしつかりした補導 うな今の状態では悪くなるばかり 底に取り扱うべきである。 こういう生徒に対して補導部は徹 き生徒であり、人間の腎である。 うゆう生徒は卑怯者と云われるべ まちのうちにして乱暴を働く。こ そして先生がいなくなると。たち の前では礼儀を守つている。 生徒は規則を守らないにきまつて にきびしくてはだめだ。それでは わかるのではないか。ただ表面的 あつて見ると、今の洛星の状態が 事になるのだ、 て、たちまち本根をはいてしまう いる。又生徒も生徒である、 一辺そういう目に とのよ

程疲れているのだろうか。それ程 要する問題である。そとで仮りに しそうなら、これは学校の一考を 勉強に追われてるのだろうか、も

刻は充分防ぎ得るわけである。 かましく言うのか。これは全て生 まずない。従つて十分の余裕で遅 もあるから間が十分以上空く事は ている。市艦は田田田田舎と四系統 に登校時のことをや

とひどくほとんどの者か許可証を である。 心からさぐれば単独観賞はない様 許可証の事が高校に移るともつ

が許可をもらわず見に行けるとい 学校側の許可を受けて、生徒自身 行委員会が、良い映画を選択して これら全体の事についての対策の 称となるのは高校一年生である。 行く者が少くなるので、高校で対 なると大学受験の為に映画を見に 定である。もつとも高二、高三に 持つていない。もちろんこれは堆 一つとして中、高等の両中央、執

なかろうか。 特に取上げて、映画、スケート 2 の 他

則正しくする為に、今一度、生徒

戦する。 の項一条「映画を見に行てうとす うける事」に関する事について記 映画名、映画館、観賞月日』を記 る生徒は、前以つて生徒手張に『 押して補導部へ届け出て許可証を 入し(父兄自筆であること)印を

学では父兄同伴であるので、まだ かも知れないが、洛星の中学生の という問題については、あいまい る。父兄が生徒に同伴しているか まだ指導の面に於ては良い方であ と減つている様である。しかし中 と許可証をもらつている率がぐつ る様であるが、中学三年位になる て許可証をもらつて見にいつてい 生徒は大体に於て、補導部に行つ はわからないが、中学一、二年の 現状を調べるとはつきりした事

元成してゆくのではな もル京都時間ルの路 えてくるのではなかろうか。 よいという事が自然の事の様に思 ければ為に許可をもらわなくても 急に映画を見に行こうと思い立

ている。我々も小市一徒も守るべきであろう。 しいという事は当然であるし、 ろうかしかし学校側では事故防止 であるという心が起るのではなか い場合等は知らせるのがめんどう 側は言つているが、家に電話のな の為に生徒心得を生徒が守つてほ

なが話し合うのである、というと

ムの基本的な要素として、皆ん

とを再認識しなければならない。

か。ということの前にホーム・ル

ホーム・ルームがどうあるべき

H

Ŕ

かにあるべきか

III

勝

俊

つてペチャクチャいつていること

が大事なのです。くだらないこと

でしようが、そんなことは考えな

影響されたら……ということなの

ない。

H・Rを通して、個人個人に人間

ホーム・ルームの大きな目的は

れた本もあるが、それはすべて集

に成長するためのある何ものかが

帰つたとしても好ましいことでは められ返却されている。だれが特

つておられる。

いで、とにかく早く帰りたいなど

るのは困るそうだ、一冊抜けても

特に、シリーズのものがなくな

落書をする当人は、面白半分でや

落書が、書かれている本がある

つても、後でその本を見る人の気

特はいやなものだ。

主婦さんにとつては、おしやべり

すととは大切だと思つてい。こう 飯に出てくる話題や、石原裕次郎 ことよりも、語し合つて楽しくな

合つてどらんなさい。きつと動く なさい。芝生や山にすわつで話し

表の通りになる。

のがいやになります。要するにく

つろいで話し合えるふん囲気が大

い貸出禁止の本が、何冊かなくな

へ返してほしいそうだ。

家へ持帰ることの許されていな

つている、先生が教材として出さ

」だとかいうものでなく、日常茶話し合つた結果がどうなるという

いものです。くり返しいいますが

或いは衣笠山にでも登つてどらん い。もつとすばらしいで、よう。

購入ができる。

べりをしていることなのです。お

ルでもして、思いきりうでをのば

することが楽しいのです。

が何のくつたくもなしに、おしや

には音楽を聞いたり、ソフトボー して幸福論や「……の原因は何か

チャペチャとおしやべりをし、時 ら彼女達の話題にあがるのは、決 るようなものなら、言い出せばよ ず鯛屈な授業から解放されて、ペ だきたい。シャプシャブやりなが も、しやべつているのが楽しくな

てここでよい点は、おかみさん達

とは当りまえだが、それにも劣ら ・Rが生徒機構の一部分であるこ をする機関とは思つていない。H

会議」なるものを思い出していた

となど、どんなくだらないことで

やすくなるでしよう。天気のよい かたまつてすわればもつと語らい

ここで、始めに書いた「井戸端 に五、六人集まつて話しているこ

どうして諸君が休み時間、放課後

ますが、自分の気の合つた者同志

た何物もない。

ところで現在ホーム・ルームの本してH・Rからの生徒会活動を通はすてき、いや大きらいという、

して、或いはH・Rのおしやべりくつろいで話せることなのです。

や機論によって、離か或る人個人 次に彼女らは、めいめい好きな位 をいっていても、五つに一つぐら

置に陣取つて語らいます。この二 つをH・Rにとり入れたらどうで

人間にとつて大事なことは、ほん

いはためになることもあります。

のそこにころがつているのですか

つそく次のH・Rの時に話し合つ

は、どんなにくだらなくても、さ

けの購入は出来ないシリーズもあ 充分な用をなさなくなる、一冊だ

いわずに、何か面白いことがあれ

てどらんなさい。きつとH・Rも

いけるのじやないかな。

がしなくなる。

本を返しに来てくれるのはうれ

ージ調べるわけにもいかず図書係

でだめ、南側の芝生へ思いきつて

地理歷史

社会科学

合計

術

学

記

業

業

芸

哲

総

I

産

32

30

29

26

9

3

0

383

くなるとその本を再び買入れる気 るそうだ、図書係の方でも本がな

品なものがある。

赤のインクで濃く書いたものや下

悪質なのは、稍すに消せない青

ないからなのではあるまいか。話 は、皆んなの意見が話し合わざれ

は活発にならない。ではどうすれ 合うことなしにホーム・ルーム

> のH・Rは大きな成功を修めたと に何か影響することがあれば、そ

しよう。

まず、今のH・Rでは、真面目

らね。こうなればしめたもので

質が果されていないといわれるの

(3)

生徒会と生徒の伝達、要求

与えるようになれば、これにこし

われているようですが、どうして生徒は定められた席にすわつてい なことしか話したらいけないと思す。さて、次にH・Rのときも、

人間性が生徒個人に何かの影響を がH・Rから親しくなつて先生の とになる。もう一つ、生徒と先生 (公命)。

23

高校ハンドボールは、昨年に続き堂々優勝した。 **安**客 **经代** ト 00000013331 **妥代** 诏黄桑藤末上今田平大石高 得000000028042 洛星11 (5-4) 9平安 GK 潤山井広坂井中野槻井木 002000444262 洛星16 610 43 GK 010000384101 FB FB 投数 投数 末 浜 # 25 HB 34 口 27 広 7立命館 反則 反則 0 FW 2 2 9 0 に結びつく大きな原動力となると

星瀬山井坂口井中野槻井木一星が第一回大会に続き二連勝を飾 のボール運びが遅い上、ゴール前 た。フエイントで抜く自信は得点 敗因である。それに比べて洛島は で無駄な横走がり多くOF中村の 切り込みで地力で制勝するところ たのがよかつた。中盤の運び、ゴ ースリーのコンピをよく生かし適 展開した。このOF武田に替えて の相手でもあり、両軍とも実力一 上々で平安とは優勝をかける宿願 つた。グランドコンディションは 地の利とチームワークにまざる洛 た決勝では立命館を一方的に退け ツヨウな喰い下りを振り切り、 とをくり返さない巧さをもつてい 十人十様の特徴を巧く生かしてい みに頼る得点力しかなかつた点が となった。これに対し平安は中盤 HB大槻を入れ石井平野のセンタ 杯の技量をみせ随所に好プレーを 予想通り事実上の優勝戦を演じシ で合つた平安と一回戦で顔を合せ ール前のパスワークなども同じこ 時速攻に田中・高木両ウイングの 【評】第二回大会は昨年決勝 四〇〇米 二位 関 て行われた。 土曜日)西京極の隆上競技場に於 見落してなるまい。 りの一戦だつた。 100米 六位

5 と を感じたにちがいない。 この 臨一高校都市対抗に選抜され、同じく一ました。 六〇、又この成績により、京都府 川口君は、今夏より府下総体四部 五〇〇〇米 四位松井路夫 五〇〇〇米 二位 西山節 一五〇〇米 二位 健闘し共に二位を獲得、高校では (高1の部)では二位、記録一米 綜合で第三位という成績であつ 走高跳一失格(一米五〇) 走高跳—二位(一米六〇) 高校の部 中学の西山、関君はよく 川口正祐(五1月) 重之(H1B) 西山諒 3 A 2 A 3 A 関係の唯一の得点をもたらし、又 西日本学生選手権では堂々優勝し 日行われた全日本学生選手権では 学に進学した山田展也君は、今シ すが、本校を今春卒業し同志社大 ーズン走巾跳に大活躍を示し、 聞紙上等で知る人も多いと 思いま 七米〇五で第六位に入賞、京都

過

期する所が大きい。なおすでに新 米六〇(三位)で、来シーズン 坂井保宏 と思っていました。騒いでいる人 ても皆が静かになるはずがない」 し私はそれは間違っていると断言 つていなかつたのです。あまりや いる人もいると思いますが自分の されたりすると「こんな事をいつ かましいので寺西先生などが注意 一人よがりかもしれません。しか いつてもさわいでいて悪いとも思 かにして下さいとか前にならえと になるまではいくら執行委員が静 る者にとつてそれは全くじれつた 内に教室に入いつてもらおうとす 授業開始のベルの鳴らぬ

合

丼、 上坂が常に FWとの 連形を保

ちよく働いた。全日本インター

一出場経験がものをいつた期待通

なお、初陣の中三末広島の力も

つくり、小粒ではあるが浜口、今

井のフオローが反撃のチャンスを

を中心にFB桑山の好カツトと藤

には京都高校界NO1GKの資源

中三A

ま書きます。そして中学生全員に なので時々立ちますが、いくら声 投げ合つている者。全くばらばら 者ふざけあつている者、ポールを 反省を促したいと思います。ベル 集合する時の事を自分の感じたま です。そこで例のごとく執行委員 次の授業の為の本を読んでいる が鳴ると皆そろぞろと集つて来る て中学生全員が校舎裏の運動場に 私は中間休み終了のベルが鳴つ 指揮台に立つ。私も執行委員

中学の部

恩田亭一

8 3 A

邦彦

陸上競技の部は、九月二七日(

陸上競技

を張りあげて「前にならえ」とい く集り静かに数室へ入つて下さい 執行委員としてお願いします。 集合の時には自分達の為にも早 先生と会釈

の間の日曜日にはじめて制服にア ろいろ良い点を指適する人々もい

イロンをかけそして、この夏服もる。又僕は去年の夏、今年の夏と

二回尼崎や青

屋の方へ制服を着て

るからはずかしいという。こうい

を着て町を歩くと皆がじろじろ見 い。又ある人がいうにはこの制服

洛星中学の夏の制眼といえば、

少いし、親類の人々の間での評判 行つた。しかしじろじろ見る人も

るが生地もあまりよくないし、上

ないと思う。又冬のオーバーであ

う事をいうのは、男のくせに情け

もなかなか良い。だから自分遒が

いくら気に入らなくても人々は良

く思つているのたから、どこへで

もスタイルをかえる事ができない

くさい様だ。来年の一年生からで

からパンドをするなんて、少し古

も着て行けば良いのだ。それに制

ものだろうか。

もいろいろあると思うが、僕はこ

洛星の制服に対して諸君の意見

と思う。なぜ

なら、夏服がスマー

んかふつ飛んでしまうにちがいな

トだとかハイカラだとか、其他い

うに守られていない。これは制服

ちた生徒適は、うらやましがつて

個人的攻撃という理由で、載せら 二Bクラスと、富永先生に対する

制服をきているんだ、入試の時落

又自分達だけが、こんな珍らしい

投書の「うき・しずみ」は、

おことわり

ほこりを持た

なければいけない。

である。だから自分邁の制眼にも

からの希望で

洛星にはいつたはず

な人になろうではありませんか。 出の時には常に制服が着られる様

れに、ほこりを持たければいけな

の側服がどんなものであろうとそ 服は我々の学校の象徴である。そ

は来年から変わるらしいが、どん

幸い僕達の嫌つている夏の飢服

な制服でもそれに誇りを持つて外

いと思う。我々は入学する時、自

どろいたのかちらつと前を見るが

たい。(S生徒)

制服について

ない。そこで笛を吹く。と皆はお つてもみんなに聞こえない。仕方

めて形式だけでも知らない様なふ りをしないで、会釈をしてもらい の意味の会釈が良いのであるがせ 生はよく目立つた。とにかく本当 度で望まれた、従つて不礙想な先 たが大抵の先生方は気持の良い態 ら僕は先生方の会駅の仕方を調べ していたわけではないが、その先 なかつたのか、そのまま行つてし をしたが、その先生は私に気付か 度に腹だたしさを覚えた。それか 生の生徒を見下した様な高慢な態 まわれた。私は先生の会釈を期待 先日の放課後、ある先生に会釈 あと数日でおわりかと思い制服に 眼、制帽とかかいてあるがいつこ 生徒手帳には外出の時には必ず削 か高校と同じかつこうをしている るけれども、外出の時は下だけと は、通学の時だけ上下ちやんと着 ものすごく悪い。たいていの生徒 だなどという。又学校内の評判も 様だ。いや因人の様だ、工員の様 又形をしている。 僕の小学校の友 人が知つている程、珍しい色をし 京都市内の人であればたいていの ついてこう考えた。 達などは、自衛隊の様だ、警官の

中二A三宅盛

書かれてある本を開けられたこと

になるのは束の間であろう。これ

から、まだまだ発展しようとする

れた或る来客が、偶然にも落書の | 干冊、或いはもつと少くても一杯

があつたそうだ。

それで、この機会に図書館側の願い、現状、将来の理想をお聞きした。

日には芝生にでも出てでうんなさ一円ほどが、本棚から消えている。 いるが、うち百冊ほどが現在かえ これだけの金高なら相当数の本が つてきた。一冊三百円と見て九万 等を調べ返却されるよう運動して はこの本の題、著者、ラベル番号 三百八十三冊であつた。図書係で なくなった本を分類ずると下の る。返却を忘れていた本を本棚へ いつたん食つたものを聞から出す つて持つて帰つてしまつた人は、 て素直に返してくれる心がけがう たそうだ。川島先生は、「とうし まり返してくれた生徒も何人かい れしい」と、いつておられる。誤 した。どうもすみません」とあや 人れてしまうと返されたかどうか 様なことだけれども返すべきであ る。

夢

自然滅るだろう」と川島先生はい てくれれば、本がなくなることも がわからない、それでカウンター 「個人個人がしつかりと自覚し てしまつては本がいたみやすい。 することはできない。早く対策を 置けば読む場所は狭くなる。 考えぬと本があふれてしまうそう いくらでもあるが、きつちり入れ それで、もう後干冊程しか収容 勿論まだ間のあいている本棚は

返されて来た本を一ページーペーら許されていない。 東は物理教室 ることが考えられている。北側の をせねばならない。第一に西の資 廊下を切つて広げることは、奥に 数室があることから消防等の面か 料室との壁をぶち抜き図書館にす 何んといつても図書館拡張計画 だ。半分を図 部屋を三分の 10月3日 現在まだ 出て来ない本の冊 数 夏休中調査の際分った失なわれた本 分 類 の冊数 学 127 文 92 自然科学 91 77

19

25

27

9

7

3

0

296

考え方が関つているのではないか いるんだと考えたらはずかしさな れなくなりました。あしからず。 が悪いというだけでなく、僕達の

洛星の図書館で失われた本は、「しいそうだ。「返却を忘れていま」は困つている。この様な事は、今 本をカウンターへ返してくれる様、願つている。 かという事等が分つた。今図書館では、返却を忘れた人、誤つて持つて帰つた人が、そつとその 整頓が行われた。これにより、創立以来三百数十冊の本が失われた事又それがどんな本であつた 要体の暑い数日間、図書係の川島先生を中心に、図書部員達の協力で、本校図書館の本の整理

館にふさわり

図書館は、

後一切やめてもらいたいものである自が自覚し協力して、本校の図 先日、本校の図書館を見に来らしと向上させた 実現し

曹架を聞く広さはないし、無理に 本校の図書は、毎年干冊程増え一出す考えもあるが、切角左右対称

ていく。現在の図書館では今以上一に設計された本校々舎が、いびつ しかし、資料室といつても一つの 料室を使う事が一番有力である。 ろ、後は選択数室なので困るそう になるので好ましくない。結局資 責館にしても、年に ほどに分けたとこ 学 36 31

でやまない。

の良き師であり、親しき友である 書館を真の模範的な優秀図書館へ 書かれたりすることは、優秀図書 れた。本がなくなつたり、落書が は優秀学校図書館として表彰さ 去年の文化の日、本校の図書館 しくないものだ。 いものである。 洛星中学生、高校生 本は中学生向高校生向と分けても かとんな夢が実現することを望ん のだ。これは理想であるが、いつ 然に静粛が守られるというわけな よい雰囲気にしたいそうである。 くの府立図書館の様に静かな気持 りは木々で囲み呱立して、丁度近 よいそうだ。机や椅子も二倍にし で、工費一千万円位までの二階建 る。修道院の横あたりがよいそう る余地はほとんどないから理想 は、大きな病手である。 図書館が場所拡張をはばれること が、気軽に来られる様にする。廻 としては、別館を建てることであ て、できるだけ多くの生徒――図 書にあまりよりつかない生徒 廻りが静かになれば、中でも自 現在のままでは校舎内で拡張す

して学校へかよつた。が中退して

コースを選ぶか。

Aの場合は楽な

活を比較してみて、あなたはどの にならなかつた。A、B、Cの生 点々とした生活で終生彼の思う様

頭が悪かつたのでとても苦労

若い時から社会生活の中に入つた

老後には安心して隠居生活を過 やがてその甲斐あつてか成功し

らしい一生を送つたといえよう。 苦労した後に楽が出来たので人間 の人間味がなかつた。Bの場合は 話しであつたが、変化がなく本当

事が出来るね。そんなに嬉しいけ

味わつてほしい。

曜日に修繕していたら、友人が嬉 家が風雨によつて負傷したので日

しそうに口笛吹いて「ようそんな

たな家庭に育ち学校はおろか小学 こすことが出来た。 Cの場合は貧 くつた。Bは一般家庭に生まれた

な変化のない生活をして一生をお 卒業して立派な会社に勤務し平凡 例えばA、B、Cという人間が存

ながら、いろいろな職業を経験し

んだ。下流社会の渦の中にもまれ

たがこれといつて安定したものは

な時にどういう型で表われるか。

個はどこにあるのか又それはどん

人間が此世に生れて来た事の価

だけはよかつたので必死の努力で 勉強し、だいたいの知識はのみこ

本

親

伯

在するとしよう。 Aは何の不自由

もない家庭に生まれ、

学校にいき

なかつた。

年老いてからも激しい変化の、

浴

稿

本当の

間

0

価

値



写真は中川、岡本両 に過ごした我々は二十一日朝札幌 北海道第一夜を函館からの軍中

高二は七月の十八日

から九泊十日で北海

道へ修学旅行に行つ

君に旅行中に感じた

事、或いは旅行の様 子等を書いて貰つた

そこで山田 伊ケ崎の三

むしろ構内にうつそうと立つてい るエルムの巨木の方が印象的であ これらには大した感慨も湧かず、 りとした雰囲気の中にひたつてい りで、その為大通り全体がしつく 余り有名になり過ぎているせいか ラーク博士の銅像があるのだが、 と向つた。北大には写真や絵葉書 バスはエルムの学園北海道大学へ で駅にお馴染みのポプラ並木やク いた。駅から出てまず目に飛 うちに気が着いたのであるが、彼 ど、氷になればしばれるとは何と る。その意味は簡単で「氷る」で のである。もつとも北海道の言葉 」とまあ、これは道産ガイド嬢の 北海道の人は頭が良いのでしよう にこぞつて教えてくれたものであ ドでも言わなくては損だとばかり という言葉等は、何処のバスガイ も少しはあるらしくて「しばる」 のであるはずなのだが、北海道に という事である、 等が訛りの無い綺麗な言葉を話す ある。「水の間はしばれないけれ 関する限りこれは通用しなかつた すれば方言は距離に比して変るも した中学生達と色々話をしている 我々の常識から

じさせた。北大を出てバスは常日 頃都大路を囮歩する我々をも遂に 我々の目に何か異国的なものを感 同時に極や杉などを見慣れている 万向音痴としてしまつたのである スのいわれあるマリモがセイ息を は汀まで原始林が密生し、ロマン するにふさわしい神秘的な様そう 阿察岳の丁度中間にある阿寒湖

それは旭川行の同じ列車に乗り合 の車中又一つ骨重な体験をした。 札幌見物を終えた我々は旭川迄 一終えてフラリと外へ出た、アイヌ を呈していた。 その夜我々は早い食事と入浴を

思う。働かずに過ごした一生がど んなにはかないものか、想像して 僕は真の人間の価値が一生懸命 いている者の中に潜んでいると お前にはこの客びがわからんのか うな気持があつた。 という気持と何かしら誇りたいよ まつて仕事を続けた。心の中では 働く人間が健康で快楽を好む者

君だつて働くことの喜びがどんな 労し通しで死ぬなんてそれもどう らお前は一生働いてくらせ」とい かと思う。であるから僕のいいた う人があるかもしれない。一生苦 みたまえ、働くことの喜びがどん ものか体験したことがあるだろう 倍にして味わえという事である。 いことは快楽を経験したら苦労を なに気持の良いものか。「そした 我々にも。最近の事である。我 残るものであろう。 う。働く者が味わう喜びは永遠に では後者は愉快であろうが後にな る。働く者の顔色は日にやけて健 ある。働くから楽というものが出 つて必らず悔いる時が来るであろ は青白い顔色をしている、 康そのものである。 快楽を好む者 心ともにその人の顔に表われてい は不健康であるということが、身 人間は働いてこそ本当の人間で 心の面

とは、とうてい不可能な事である 来るのであつて楽ばつかりしよう くつた事があるという。彼は今の 大阪に生を受く。 して就職、そのエガオと色の黒さ 神戸大学である師範を卒業、洛星 ヴィアトール学園に第一回教員と はない)彼のオヤジは洋服商、服 〇主人公一昭和三年一月一日、 (決して南方で

が余りにも邦人化しているので、 熊を彫り上げている。我々は彼等 内ではアイヌが鮮やかな手つきで いる。土産物屋の店先には子熊が とは異つた雰囲気を、酸し出して の本場文あつてさすがに他の温泉 いて愛敬を振りまいていると、店 かつた。

> 踊りを見せて貰つた丈で無事に過 」というチンドン屋の親玉の様な

余の話したいのは次の夜からの

が宜しい。その夜は「ねぶか踊り

太

て仕方がなかつた。

た時は尻が重くなつて立ち上れな一余はとれを見た時もつ二度と来る一をこづいて寝音を言わすか、布団 全部腸を通つてケツの周りに集つ て来やがつた。お蔭で青森に着い た。いやグツとどころではない、 いる間に胃袋にたまつている奴が ゾーツときて三等の呼席に坐つて た所に汽車が騒々しく走りおる。 りやあせん。その上五〇米程離れ

つてもただ夜隠にまぎれで他の部

部隊が活躍しだした。活動とい

屋を襲う丈である。襲つてどうす

るか、どうもせん。ただ相手の鼻

シア・エルム・プラタナス・ポブ

つた。全体に札幌という所はアカ

翌朝、夏には思えない様な冷気の

中に目を覚ました我々は、

ラ等の巨木が多く、それらが都市

山に少々重い心で別れを告げて層 度も姿を見せてくれなかつた大雪

製峡から次の目的地阿寒へと向つ

なりの落着きを持たせている。と

ンボにとつては狭いながらも楽し 女の人柄がうかがわれる。彼と赤 スタイル)まだ新しい家具、それ い我家であろう。 に人形等、整然とならんでいて彼 ラジオ(彼にいわせるどドイツ・ ねばならなかつた程の熱つぼさ。 者二人が入つたらすぐに汗をふか ものである。しかしその温度は記 〇部屋一六畳一間。実に見事な

れてゆくという話を聞いた時、な がよくやつてきてワイワイとあば のいい部屋だ。 至らなかつた。 るほどと思い、さしておどろくに 居心地が悪かろう。卒業生の連中 顔をウットリとながめている彼女 服用のようなユカタの彼、彼の横 〇客に対するもてなしーネマキ 丸々とふとつた赤ンボ。なんで 何にしても居心地 (諸君行くといい わ」これは珍談の数の多さとその 自分から「ソンナコトアルカイナ 質の悪さを簡単にいい表わした名 いな、そんなも新聞にはのらへん 次の問には「ボクの珍談でか

ような泣き声、おそれ入つた。正 るや、まるでライオンのアクビの るそうである。 つい記者の声が大きくなつて起こ 年後の赤ンボと同じ程の目方があ してしまつた。起きたあとの声た 言である。 〇正宜君一生後八ケ月の彼は一

初めは寝ていたが

ますよ」というとすました顔で御 先生にはすぎたワイフだと言つて イ)記者が重ねて「皆が奥さんは 」それでおしまい。横のワイフを ひやかすと「そらしやあないがな 妙な顔をしていたといつて記者が その彼も結婚式の時にはエラク神 レン者であり、大のバチンコ狂で は焼チュウー升に清酒一升を一度 あり、酒飲みである。(彼の最高 トール祭のファイアーのジュク

く様子を見る事にした、向こうの

方でもぐもぐ寝言を言い始めた。

こうと思つたが心を変えてしばら がもそもそと動き始めた。余も動

多分「先生」が鼻でもつまんでい

と上品な形ででも旅行する時には

適当に遊んでこいという事である

その方がずつと思い出深くなる

頃になると早速「先生」と「卵」

との辺でやめておこう。

たそうである。 てばかりだつたそうだ。「ダンス さりの前チャン。又女学校時代に はたしかにうまいと、激賞を一く チャンはヘタクソで足をふんずけ チャンとおどられたそうだが、前 はバスケツトの選手をしておられ

御家族を訪問して我々はフラフラ わかりになつたと思う。この熱い の生活等を見てこられるのもおも た故、諸君達が御自身で前田先生 になり、満足な記事も書けなかつ さてこれで当場人物の概要はお (奥田、

の樂」 しいのでスエーター等を着ていた ため場違いなちぐはぐな感じがし 書いたりしたが何しろ非常にすず 二十三日小雨に煙る阿寒を後に 宿へ戻つて内地への暑中見舞を

> 中でも光つているのは「先生」と 話である。我々の班は七人いる。

であるKと余である。他に手の指

青森迄三十時間、全くグツとき一つた位だ。その日の晩我々は祕虫 寸幻滅を感じずにはいられなかしなつかしい南を指して出発した。 んがしてある、全く汚いつたらあ という田舎くさい温泉町に泊つた **馬鹿につばめがいて、到る所にふ**

全校生徒に親しまれている。ヴィ ノだという)とブタの足でもつて る人は知能を表わすボーイソプラ じつにホホエマシイ(タダシ女子 にしてもらわなくてはねー)正宜 二人で大サワギを演じている所等 んだろうが、まあ一応……(網馬 で将来は金田か長嶋……とはいか **岩は運動神経が発達しているそう** のほれた、はれたはもつと先の話 題チャンリン=先生スンマセン)

色の白い奥様の事を少し。 かれた。すると横から前チャンが 父様の御職業は?」と聞くと「火 の注目の的、色の黒い前チャンの 但し絶対に教師にはならしたくな 薬庫の所長でした」には青気をぬ いそうである。それでは最後に皆 〇ベター・ハーフー彼女に「お

が聞えた、「ヤメトイテクレヤー

るのだろう。と突然すさまじい声

生お許し下さい)、奥様はダンス 顔の美しさ。全くもつて勿体なや がとつてもお上手で、 勿体なや。(重ね重ねの失礼、 ア」と言つて先生をニラム。その んで帰つたりしたら、ようハレッ しよるんや」すると奥様が「イヤ 「親爺の血を引いたのか、僕が飲 一回だけ前 先

起とつたのです。



生」の困つた様なあやまる声が聞 白老アイ ヌ部落

着したのは八月二十四日の昼頃で あつた。ここで思いもよらぬ事が 住した所だ、と伝えられている白 老のアイヌ部落に、私達一行が到 人ばかり生活している。昔、又セ バイヌという者が一族を率いて来 アイヌは現在二二五戸、五六〇 れたのは、 年老いたア

あつた。 のびないものが たのは、エカシ 最初に案内され

治様式を、 日焼 アイヌ独特の生 が我々旅行者に そこでは首長 週間程おくれた。

につめてまれた。例の活動をする と思うが、その日に限つて我々は ある晩の事、確か阿寒湖であつた 又眠くさえなければ余も大いに暴 仕方がないとあきらめておるし、 という事まで。全く心外極まるが おまけに張本人が余であるらしい れているという噂がはつと立つた るさざるを得なかつた。そうこう 生」と「卵」にのみその特権をゆ が十二時頃になると目が自然にふ から以後も何度もやろうと思つた つた途端離かの足にけつまづいて 聞えるが、余のやつたのはほんの うと余がいかにもベテランの様に となでてやる程度である。ころい 他の二、三班の連中と一つの部屋 れていたろうから事実仕方がない している内に二班の連中が晩に暴 さがつてしまい、どうしても「先 を頭からかぶせてその頭をちよつ にはもつてこいである。十一時半 これも日頃の不徳の至す所、まあ ほうほうの体で逃げて来た。それ 一回きりであり、それも部屋に入 とうとうオジャンになってしまつ 二人組が出張している間に他の一 をつつしんで食べさした話等、ま 井先生が寝ている時、クラツカー た。かくて我々の旅は終つた。平 る事。 行委員長一派だと聞いてくやしが 塩は頭にぶつつけられた枕とは露 班からやられた。例によつて彼の この姿を想像してただ無性に笑い だまだ面白い話は数有るが、まあ と張切つておつたが、かんじんの 後の日になった。余は今日こそは 団がやつて来て、我が窒に無暗に かぶつて思 たくなつた。 てあやまつているのだろう、余は 恐らく頭をすりつけるばかりにし しらず、それを抱いて朝まで寝て 「先生」と「卵」の体力が続かず そうこう している内に旅行の最 い切り笑つた。

問題にしない。本式に北海道に着

は余り思さをしないのでここでは の滅法早く動く藤田がいるが、彼

いた晩(七月二十日)から我ら機

を訪ねて 安

が来るのを待ち受けていたかのよ た。我々に寄り添い、哀願するよ うに絞いの手を求めている彼女達 うに私達の回りを取り囲んだのは の光景には、 というよりも我々一行 りるとまず出迎えてく イヌ人の花売りであつ あまりにも見るにし

長の住居である マトクという首

君が新しく局員となられた。

洞爺湖での夜我々もとうとう他一ズボンの上に着ているのである。 質もなにも見えないが一の額を髭の中で動かせながらぼつ だから頭から布団を一て、木の皮であんだアイヌ独特の りぼつりと説明してくれた。 々。彼の着物といえばふるつてい 例えば家屋の構造・魚の取り方響 模様が入つている薄汚れたものを

明は私達にあまりよい感じを与え

内地の人間を皮肉るような彼の説

おつた。後から聞いてそれが現職しはぐくまれていつまでも美しく生 枕を投げ込みやがつた。お蔭で大一ここえ来てかなり多くの人々は気 だこの様な形ででも、或いはもつ せようなんて考えは毛頭ない。た な話をして後輩等にこの真似をさ 最後にいつておくが、余はこん を悪くし、又は腹を立てた事であ ていて、ただ家屋やその他の器物 るたずねて来たのに、それが、は きぬいて来たアイヌ人の生活の夢 かもしれないが、彼等のこうした ろう。なぜならば私達は、自然に のどうすることも出来ないこの世 行つてアイヌ民族のこの現状を見 なかつた。 に対する抵抗のように私には思わ ていない人には分つてもらえない いるにすぎないのです。北海道へ だけが、昔の面影を佗しく残して 昔の風俗などはほとんど内地化し かなくも裏切られたからなのです 態度が、多くの人間にうらぎられ を描きながら、この北国にはるば 生きる事につかれ果てた。彼ら

れる。 えばそれまでだが、自分達の夢を 民族の残り火もやがては消えてゆ はかない運命というものを考える れ丈で、彼等をにくむのはどうか しれない。それも好き好きだとい と思う、それよりもアイヌ民族の みたさなかつたという丈でただそ べきではないだろうか、滅びゆく アイヌ人をにくむ人があるかも

た遠を信じているんだから』と私 ほしい、いやなやつは信じなくつ は大自然というものがある。その はアイヌの人々に望むのである。 たつていいんだ、大自然丈があな 中でいつまでも導く美しく生きて くであろう。 ルアイヌの人々よ、あなた違に

編 集 後 記

▼本号は最初の発行予定日より ▼今度高一から清水、川嶋の両

大岩、加太、清水、川嶋、三面を 五条、高谷、藤浪、四面を河村が ▼本号は一面を時野谷、二面を